

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)	◎	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスで来客数は減り、売上も下落しているが、3か月後になるとワクチン接種も進んでいるはずなので、かなり来客数は戻り、景気は必ず良くなる。
	◎	一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種の本格化による感染状況の落ち着きや、自粛疲れにより、客単価、客足共に増加すると思う。
	◎	通信会社社員	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まって、ある程度収束する見込みが立っている。
	◎	通信会社（営業担当）	・新料金プラン発表などにより業界全体での客の動きの活性化を感じている。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染者が減少傾向にあり、ワクチン接種も開始されていることから、多少は解放感で人々の行動が活発化していくように感じられる。
	○	商店街（代表者）	・緊急事態宣言が解除されようとしていること及び、ワクチン接種が始まったことで、状況はかなり明るい兆しにあると思う。ただ、第3波の影響が余りにも大きかったせいで、警戒心が解けず消費者マインドが上昇しない。商店も大変厳しい春商戦になると思う。
	○	商店街（事務局長）	・ワクチン接種が順調に行われ、今夏の東京オリンピックが終了する頃には人通りや消費が回復することを願っている。
	○	スーパー（店長）	・ワクチン接種等により新型コロナウイルスの感染が収束に向かい、人々の消費活動が現状に比べて活発化してくると思われる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・3月は気候が暖かくなることと緊急事態宣言が解除され始めたことから、もしかしたら、雰囲気が一挙に変わるかなと期待している。
	○	乗用車販売店（役員）	・ワクチン接種が順調に進めば少し良くなっていくように感じる。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・少し暖かくなると人出も多くなり、花見などもあるので、売上は上昇すると思う。
	○	一般レストラン（経営者）	・ワクチンの結果次第だが、効果が現れ安心感が出てきたら経済活動も活発になっていくと思う。
	○	観光型旅館（経営者）	・緊急事態宣言の解除により、景気はやや回復すると思われる。
	○	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染が大分落ち着いてきた上、ワクチン接種も始まっており、4～5月でお遍路の予約も若干入ってきているので、今よりは多少良くなると思っている。
	○	競輪競馬（マネージャー）	・緊急事態宣言が解除される都市があることから、観光や娯楽業、外食業は集客力アップが予想され、景気の上昇が見込まれる。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、商店街への来街者自体が減少している。その結果、来客数も少なく、また、購入商品も数量、金額共に減少傾向にあり、しばらくはこの傾向が続くと思う。
	□	百貨店（販売促進）	・今後、首都圏の緊急事態宣言が解除されても先行き不透明な状況であり、春の行楽シーズンも消費者の購買意欲は元に戻らないと予想される。
	□	百貨店（営業管理担当）	・ワクチン接種開始のプラス要素はあるが、感染者数減少の鈍化や行動規制緩和による感染者数の再拡大が懸念される。
	□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響がいろいろ出てきており、収束しない限りは、今の状況は変わらないと思う。
	□	コンビニ（店長）	・以前なら、卒業進学シーズンに入り良くなるはずだが、この状態では見込みは薄く、まずは早期にワクチン接種が進むのを期待するのみである。
□	コンビニ（商品担当）	・ワクチン接種はまだ一般的ではない。早く接種が完了し、イベントやレジャーなどが通常に行われるようになったら、景気回復といえるのではないかなと思う。	
□	コンビニ（総務）	・新型コロナウイルス禍でニューノーマルのスタイルは変わらないと思う。今後ワクチン接種の拡大によってどのように変わっていくか、また、変化が現れるのかは当分先になるのではないかなと思う。	
□	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広まればもう少し良くなるが、それまではこのままである。	

	□	衣料品専門店（営業責任者）	・緊急事態宣言が解除され、ワクチン接種が広まれば、客は安心感が出て買物をしやすくなる。また、Go To Travelキャンペーンが再開すればアパレルの需要も回復してくるのではないかと感じている。
	□	家電量販店（副店長）	・ワクチン接種が行き渡り、感染者が減っていかない限り先行きは見えてこない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きつつあるが、景気が上向きにはまだまだ時間が掛かる。
	□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況が大幅に改善されない限り、景気が良くなるとは思えない。
	□	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・ワクチン接種が始まったが、一般人への接種はまだ先になりそうであり、安心して出掛けられる状況ではなく、景気が悪い状態は続くとしている。
	□	旅行代理店（営業担当）	・気候が暖かくなるにつれ、人出が多くなり、感染拡大が再び広がる可能性が懸念される。
	□	タクシー運転手	・例年であれば、就職や入学等で人の動きは多いが、卒業式等のイベントは少なく、卒業式もリモートになっており、新型コロナウイルスの感染が収束しないと景気は良くなないと判断する。
	□	通信会社（営業部長）	・新型コロナウイルスの影響が長期化しているため、購買を慎重にする傾向は変わらないと考える。
	□	設計事務所（所長）	・街の中心部では、相変わらずマンションやオフィスビル等の開発が進んでいる一方で、飲食業等については商売を辞める人が出てきている。景気についてはどちらともいえない。
	▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	・繁華街のスナックでクラスターが起こり死亡者が出てから、来客数が激減し、販売も予約も入らなくなっている。インターネットの安価な商品注文はあるが、店頭販売の高額商品は予約が入ってこなくなっている。
	▲	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きにより、外食からの取り込み特需が終了する。
	▲	コンビニ（店長）	・レジャー利用の来客が見え始めているが、全体では来客数減少に歯止めが掛からない。
	▲	家電量販店（店員）	・季節商材も落ち着き、底上げしていた要因がなくなる。
	▲	乗用車販売業（営業担当）	・年末年始キャンペーンや決算キャンペーンも終了するので、苦戦すると思われる。
	▲	美容室（経営者）	・一度離れた客は簡単には戻ってこないと思うので、これから少しずつ悪くなると思う。
	×	商店街（代表者）	・これまでの景気概念では好況、不況を捉えきれない時代になっており、従来の考え方では好況を感じることはできないかもしれない。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの収束が見通せない状況で先行き不安である。
	×	観光遊園地（職員）	・新型コロナウイルスの対策によって、飲食業界の営業時間が大きく左右されることが想定される。また、時短要請が解除されても客が戻ってこない状況が続き、結果としてそれに関わる業種もダメージを受け、危機的な状況になっていくことが予測される。
企業 動向 関連	◎	輸送業（経理）	・客から中国向けの出荷量について前年度の3倍になるとの連絡があり、他の客からもこれからアジア向け輸出量が増加するとの情報が入っている。
(四国)	◎	通信業（企画・売上管理）	・都市部の緊急事態宣言の解除と、前年4月以降の広告費が激減していた影響もあり、前年比という指標では4月以降は100%を大きく上回る見込みである。
	◎	税理士事務所	・新型コロナウイルスのワクチン接種により、落ち込んでいる消費が回復すると思う。
	○	食料品製造業（経営者）	・都市部の緊急事態宣言が解除され、受注量が回復基調になると予測する。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・客からの多くの商談が成約の方向に話が進んでいるので、当社の業界では景気は良くなる。
	○	電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルスのワクチンを保管する保冷庫の需要が伸びており、前月同様、継続的な需要が数か月継続する見込みである。
	○	建設業（経営者）	・補正予算額が多く、例年より多くの業務発注がされており、数か月先までの仕事が確保できていることから、通年での売上計上が見込めることで、景気はやや良くなる。
	○	輸送業（経営者）	・これ以上の下げ幅はないので、景気は回復する。

	○	通信業（総務担当）	・緊急事態宣言による自粛効果が徐々に現れ、感染状況が落ち着いてきたことを受け、地域全体の景気も次第に良くなると思われる。
	○	金融業（副支店長）	・ワクチン接種開始などによる新型コロナウイルスの収束への期待感から、消費者マインドや行動が回復し、取引先の業況回復が期待できる。
	□	農林水産業（職員）	・量販店の利益追求と、消費者の新型コロナウイルス禍での所得の減少等による低価格志向により、卸売価格は低調である。量販店等での消費宣伝となっている試食販売ができないことも消費者の財布のひもが緩まない要因となっており、先が見通せない状況である。
	□	繊維工業（経営者）	・新型コロナウイルス禍が収束すれば急速に回復する可能性もあるだろうが、現状では今の状態が続くと思われる。会社の売上高は前年比で下落しているが、従来実施していた展示会や営業社員の出張の取りやめ、作業時間短縮による経費の節減効果などにより、財務的には良くなりつつある。
	□	木材木製品製造業（営業部長）	・緊急事態宣言の影響を受けてしばらく景気は悪いと判断している。ワクチンの早急な接種を期待している。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・多くの消費者が年末の掃除用で購入したウェットクリーナーの販売量が落ちている。また、新型コロナウイルスの影響で競合他社が増えたことも要因であると思う。
	□	化学工業（所長）	・緊急事態宣言が解除され、Go To Travelキャンペーンが再開し、需要の回復というシナリオは十分あると考える。ただ、本格的に効果が現れるのはゴールデンウィーク頃かと考えるので2～3か月先の景気は変わらないように思う。
	□	鉄鋼業（総務部長）	・いまだに、回復の兆しは見えていない。
	□	建設業（経営者）	・2～3か月先の受注予定が非常に少ない。
	□	輸送業（営業）	・ワクチン接種の開始や緊急事態宣言解除に向けた明るい報道がみられる一方で、リバウンドによる感染再拡大への強い警戒感が商流低迷に結び付いており、景気の先行き予測は極めて難しい状況にある。
	□	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種スケジュールが遅れつつあるため、集団免疫ができてないと予測される。したがって、多くの客の販促計画は削減傾向が続くため、余り変わらない予想である。
	▲	*	*
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・海外では新型コロナウイルスの感染再拡大や点在する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にある。
雇用 関連  (四国)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種拡大に伴う経済活動の活況が期待できる。
	○	求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期に入り求人数の増加が予想される。
	○	学校〔大学〕（就職担当）	・ワクチン接種が開始され、新型コロナウイルス感染者の減少が続き収束に向かえば、景気は今年より良くなっていくと思う。
	□	人材派遣会社（営業）	・これから来年度に向けて、新型コロナウイルスの感染をしっかりと予防できる運営が必須になると考える。そのなかでRPAの導入などデジタル化、デジタルトランスフォーメーションを推進できる企業がこの時代を生き抜いていくかどうかの分かれ道となる。
	□	職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で、休業している事業所からの雇用調整助成金の申請が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。現在は10都府県に緊急事態宣言が発出されており、この状況は緊急事態宣言の解除までは続くと思われるので、この2～3か月先の状況は変わらないと判断する。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・ワクチン接種の進捗次第で状況が変化すると思うが、現時点では大きな変化はないと考える。
	▲	求人情報誌（営業）	・サービス業を中心とした景気の悪化に伴い、求職者の数が増えてきている。正社員の雇用は守られても、非正規やアルバイト、パート人員は雇い続けることが難しくなっているため、失業者が増え、景気は悪化傾向と判断する。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスを受け、少しずつ影響が出ていなかった分野の広告出稿にも影響が出始めている。

	×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気の低迷が継続しており、工場などの生産の先行きが見通せないため、派遣の求人が不安定である。
--	---	--------------	--